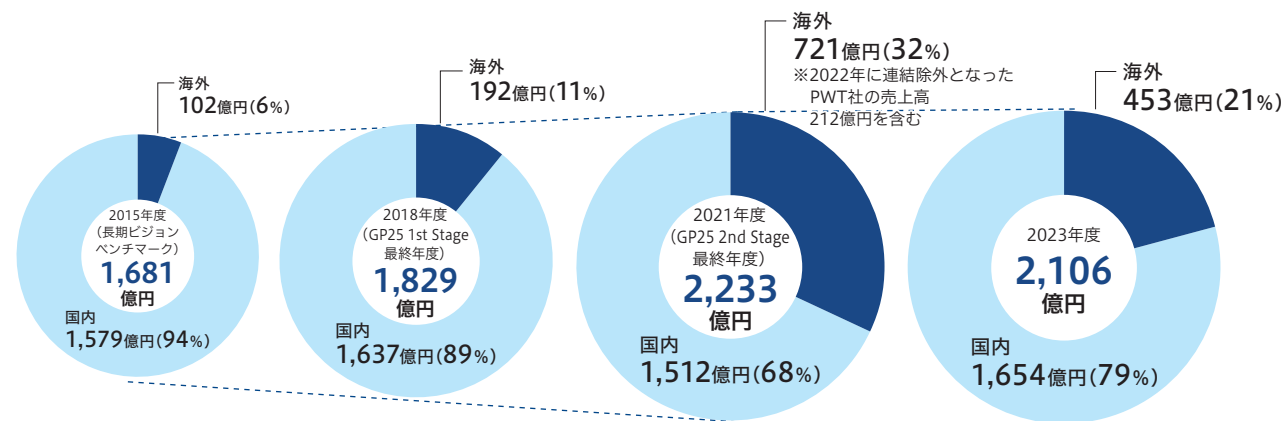


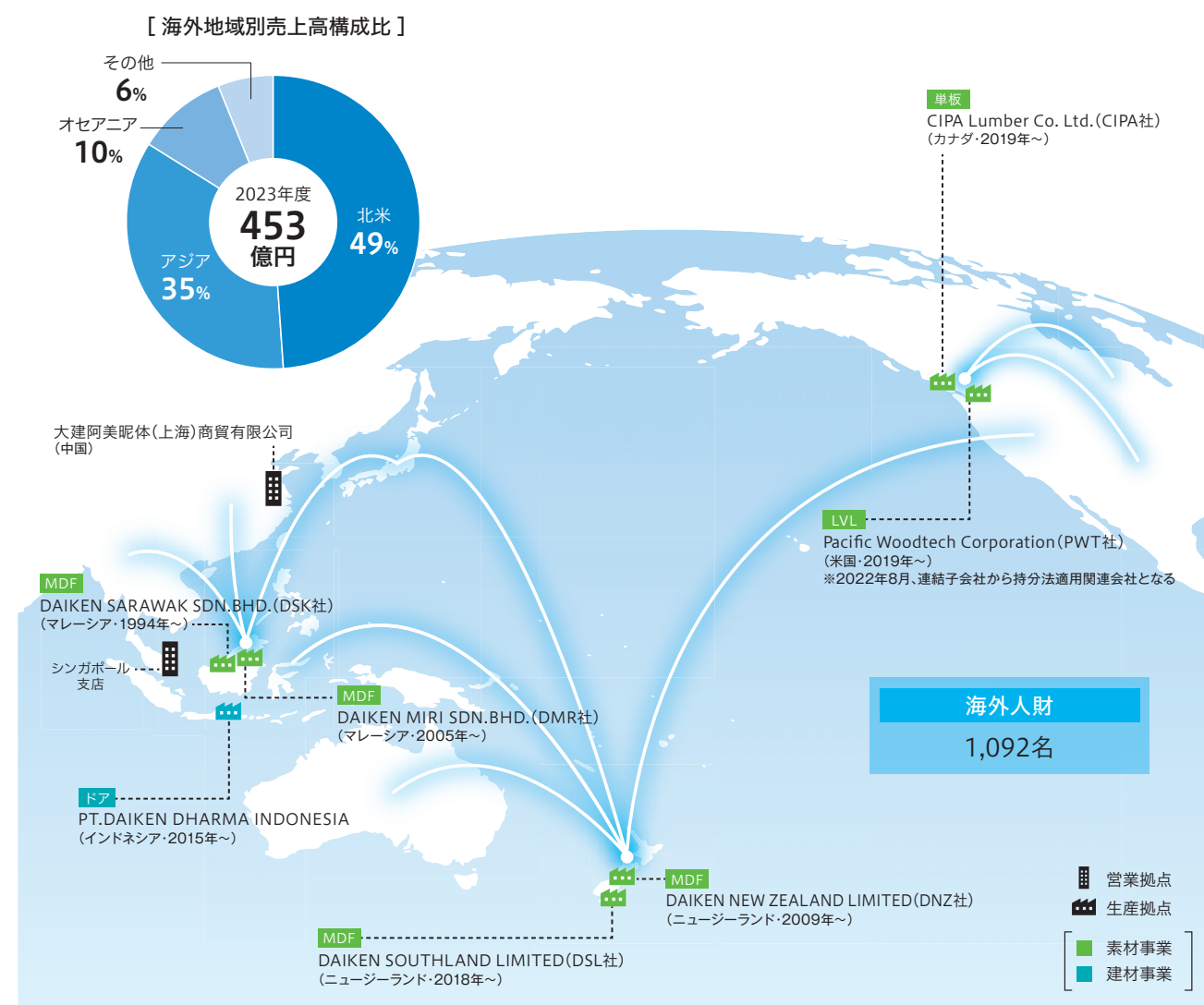
海外市場

海外市場の素材事業では、マレーシア、ニュージーランドで生産するMDFの販売に加え、カナダ、米国で単板、LVLを中心とした木質素材の生産・販売により拡大を図っています。建材事業では、巨大な市場規模の中国、住宅需要拡大が見込まれるインドネシアで内装ドアを中心に展開しています。

国内・海外売上比率推移



海外拠点



MDFによる展開

製品の特長

マレーシア、ニュージーランドの2カ国4工場体制で木材の端材を有効活用したMDFの生産を手掛けています。樹種や製造ラインの特長を活かし連携を図ることで、新たな価値を付与した製品の展開と海外市場でのさらなる販路拡大を推進していきます。

マレーシア

樹種：広葉樹「TEKWOOD」

- 優れた寸法安定性
高温・高湿でも寸法変化が小さく反りが起こりにくいため、収納、建具などに広く利用されています。
- 優れた耐水性
水や湿気を吸収した時の膨れが小さいため、耐水・耐湿が要求される窓枠（サッシ枠）やフロア・台板などでも使用が可能です。
- 未利用資源の活用、原材料の安定調達
製材・合板工場から出てくる端材などの未利用資源の活用に加え、植林木（アカシア）の利用を促進しています。



ニュージーランド

樹種：針葉樹「CUSTOMWOOD/DSL MDF」

- 表面化粧に影響を与えにくい淡色表面
下地が透けやすいシートをラミネートしても化粧表面に影響がでにくいのが特長です。
- 滑らかな表面性
長い木質繊維を活かした表面は滑らかであり、ラミネートや塗装などに適しています。
- 未利用資源の活用、原材料の安定調達
工場が立地するニュージーランドは、計画的に植林された針葉樹が豊富にあり、この針葉樹を主な原料として使用することにより、原材料を安定的に調達しています。

生産拠点

DAIKEN SARAWAK SDN.BHD. (DSK社)



設立:1994年5月
年間生産能力:120,000㎡
取得認定:
JIS A 5905, PEFC CoC
CARB, EPA TSCA Title VI

DAIKEN MIRI SDN.BHD. (DMR社)



設立:1996年9月
→ 2005年2月にグループ化
年間生産能力:120,000㎡
取得認定:
JIS A 5905, PEFC CoC
CARB, EPA TSCA Title VI

DAIKEN NEW ZEALAND LIMITED (DNZ社)

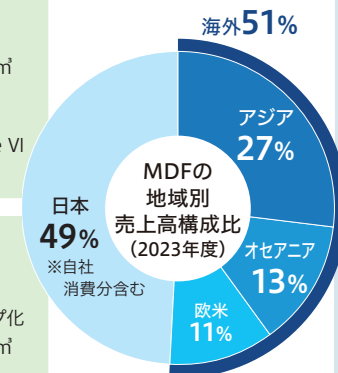


設立:1976年
→ 2009年2月にグループ化
年間生産能力:110,000㎡
取得認定:
JIS A 5905, FSC CoC
CARB, EPA TSCA Title VI

DAIKEN SOUTHLAND LIMITED (DSL社)



設立:1993年11月
→ 2018年4月にグループ化
年間生産能力:200,000㎡
取得認定:
JIS A 5905, FSC CoC
CARB, EPA TSCA Title VI

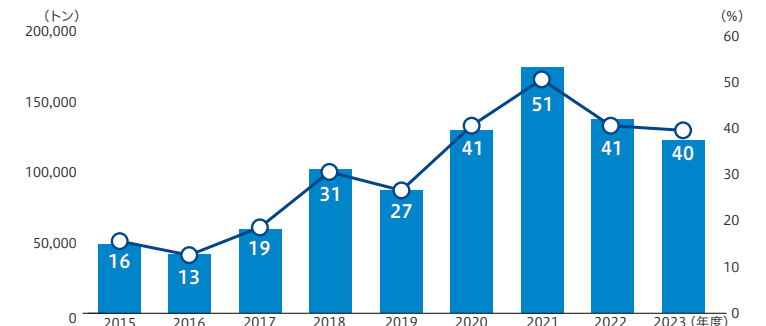


マレーシアでの植林活動

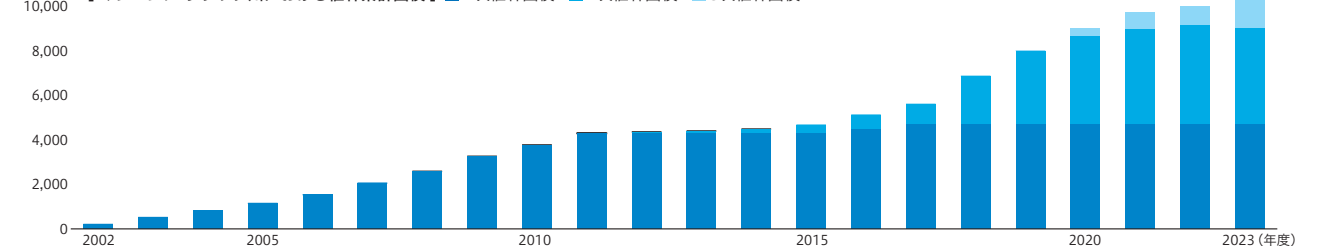
木質原料の安定調達の実現に向け、2002年からマレーシアのサラワク州でアカシアの植林を開始し、累計植林面積は10,500ha以上となりました。マレーシアで製造するMDFについては、2025年度に木質原料の植林木比率を100%に高めることを目指し(2023年度の植林木比率40%)、植林木の管理育成と共に、自社植林地の拡大を進めていきます。



【マレーシア植林木比率推移】■使用総量 ○比率

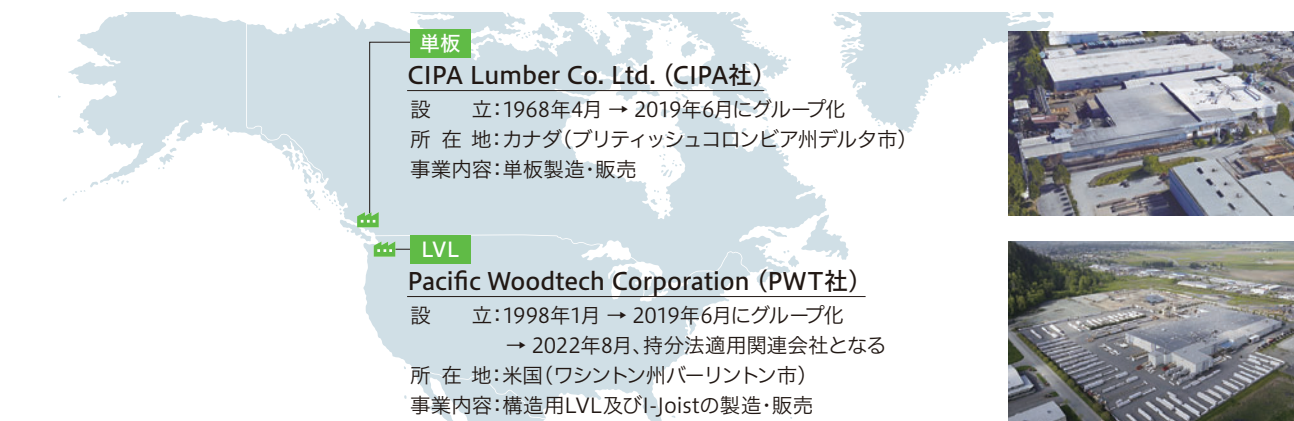


【マレーシア サラワク州における植林累計面積】■1次植林面積 ■2次植林面積 ■3次植林面積



北米における木質素材の展開

2019年6月のカナダ単板工場CIPA社及び米国LVL工場PWT社のグループ化により、世界最大の木造住宅市場である米国市場への本格展開を開始。2022年8月には、PWT社がLouisiana Pacific社よりLVLの製造販売を中心とする住宅用構造材製造事業を取得し、事業規模が大きく拡大しました。なお、事業取得を目的とする増資に伴い、PWT社は当社連結子会社から持分法適用関連会社となりましたが、引き続きCIPA社との連携を強化するとともに、全米エリアに拡大したLVLの製造・販売網をベースに、より付加価値の高い製品展開を進めることで、北米木質素材事業のさらなる拡大を図っていきます。



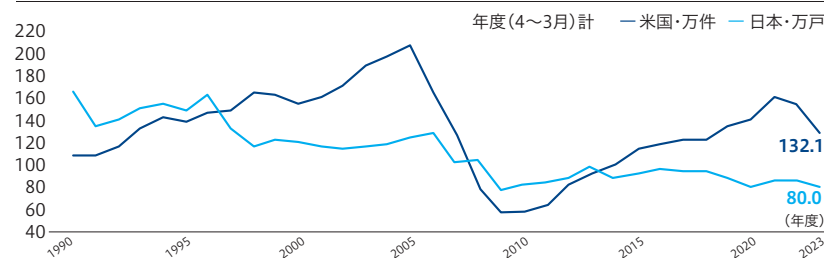
グループ化の意義

① 海外市場での拡大	日本国内の新築住宅市場の縮小が見込まれる中、長期ビジョンで注力市場と位置付ける海外市場での拡大を図る。
② 世界最大の木造住宅市場への進出	日本国内の約2倍の住宅を供給する世界最大の木造住宅市場で、かつ、年間200万人以上の人口増が見込まれている成長市場である北米市場への進出を図る。
③ 素材開発力を活かしたシナジーの追求	素材に技術注入し、付加価値を高めることで拡大してきたビジネスモデルを北米市場で展開することにより、さらなる拡大を図る。また、素材を軸に市場を捉えることにより、新たな用途展開を目指す。

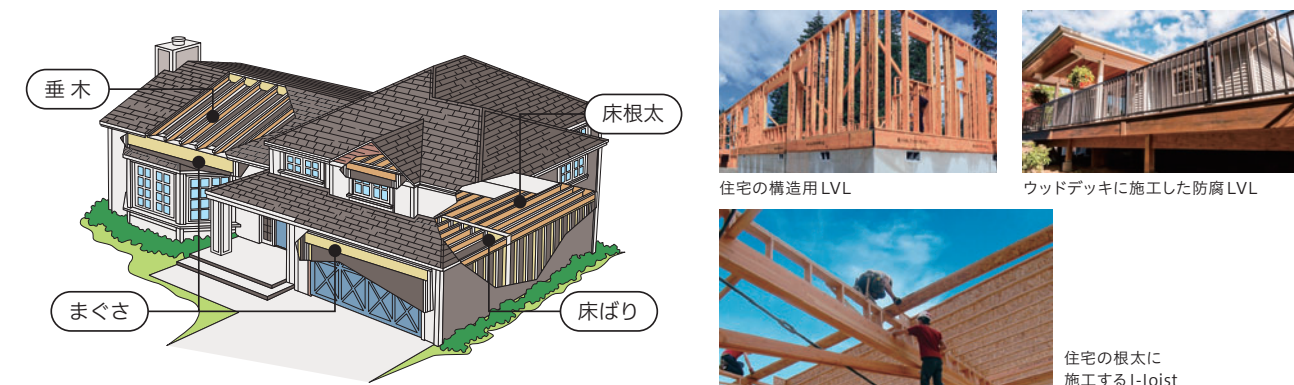
世界最大の木造住宅市場

世界最大の木造住宅市場である米国の2023年度の住宅着工件数は約132万戸で、住宅価格の高止まりや政策金利引き上げの影響を受け、前年度から減少しましたが、それでも日本の約1.6倍の市場規模を誇ります。今後の市場動向につきましては、金利動向などの不確定要素はあるものの、移民政策による中長期的な人口増に加え、リーマンショック後の住宅ストックの不足、ミレニアル世代の持ち家比率の増加などを背景に、底堅い住宅需要が見込まれます。

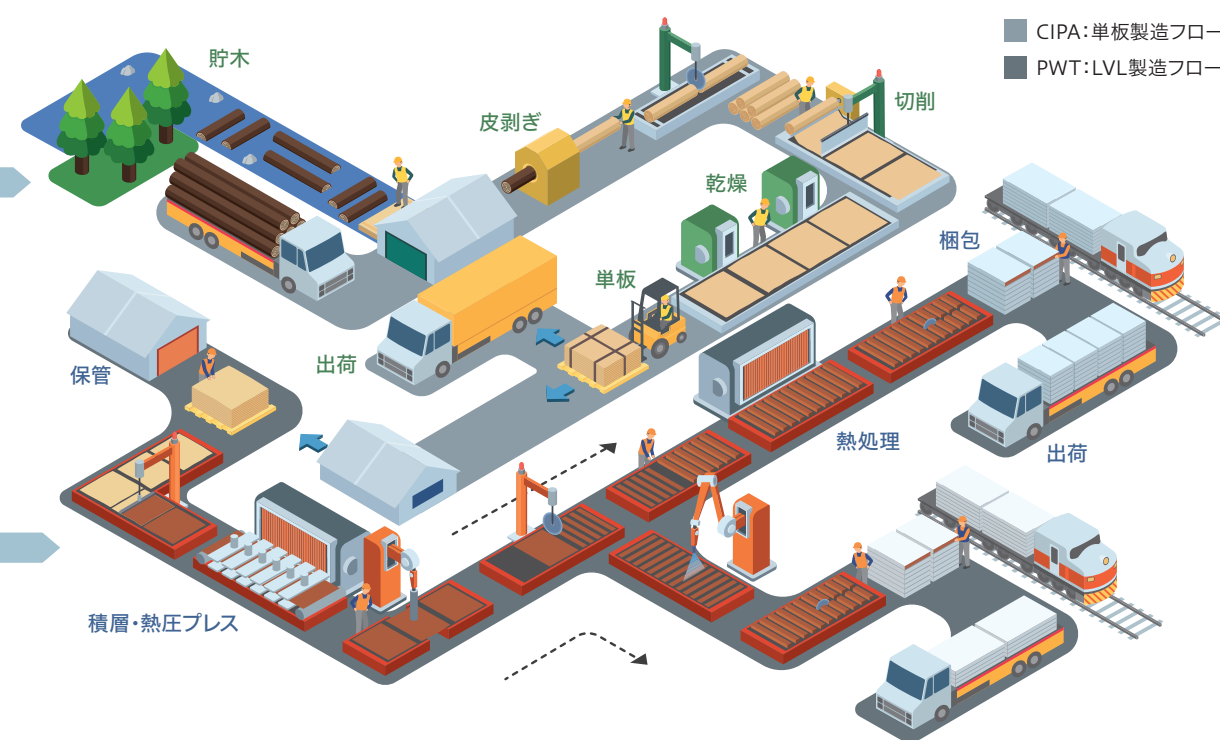
米国・日本住宅着工推移



主な用途



事業フロー



新規木質ボード事業化に向けた取り組み

2024年7月、米国ラミネート製品製造会社Panolam Industries International Inc.の傘下で、カナダ オンタリオ州ハンツビルで低圧メラミン化粧板※を製造するPanolam Industries Ltd.の株式の51%を取得し、子会社化しました。(現在の商号はDAIKEN North America Ltd.(DNAL社))

当社は、長期ビジョン「GP25」において海外市場を拡大すべき重点市場と位置づけており、伊藤忠商事と連携しながら事業拡大を進めています。その中でも、世界最大の木造住宅マーケットを擁する北米エリアは、木質素材の需要が大きいことから、従来よりMDFの供給や、LVLの製造・販売などに注力しており、今回のDNAL社の子会社化は事業拡大のさらなる足掛かりとなります。DNAL社では、低圧メラミン化粧板の製造・販売にとどまらず、当社が開発を進めてきた「新規木質ボード」の製造拠点として活用していきます。「新規木質ボード」は優れた寸法安定性や剛性のほか、平滑で均質な色調の表面性など、合板代替として求められる優れた性能を有しており、持続可能な木材の循環利用を可能とする地産地消を想定した環境配慮型の製品です。今後は、2026年度中の「新規木質ボード」の生産開始を当面の目標に据え、低圧メラミン化粧板も含めた北米事業の拡大を進めていきます。

※化粧紙(チタン紙)にメラミン樹脂を含浸させた化粧層(含浸紙)と、基材である木質ボード(パーティクルボード)を低圧で熱圧成型した化粧板

